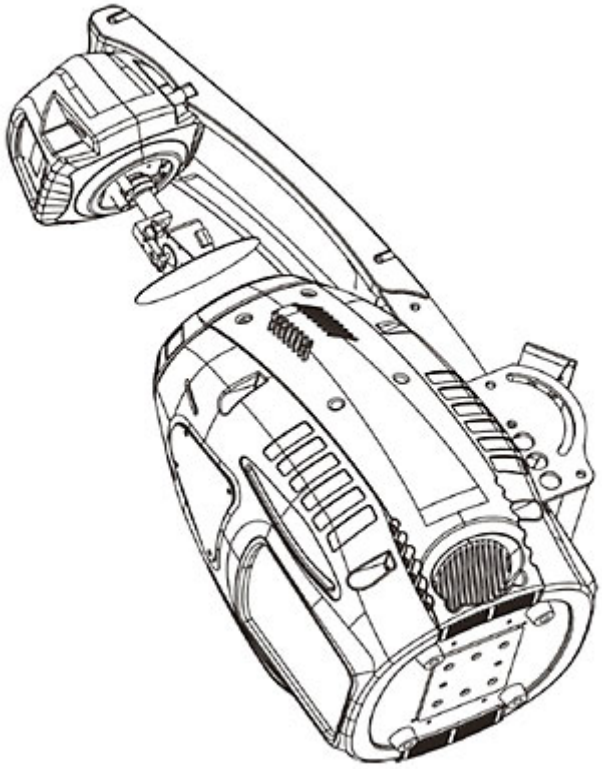
Vision Scan 575 取扱説明書



株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は ELATION VisionScan575 をご購入頂き、誠にありがとうございます。
VisionScan575 は DMX 規格に対応しており、DMX コントローラーで操作することが可能です。
VisionScan575 の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また不明な点が生じた場合に備え、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

ディスチャージ・ランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージ・ランプは非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意下さい。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手で触れた場合はやわらかい布で電球の表面をふき取って下さい。また衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意下さい。

ディスチャージ・ランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の輝度は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断する為に特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないで下さい。

注：ディスチャージ・ランプを直接見ることは絶対に避けて下さい。

本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止め下さい。
ランプや電源を OFF にした後、5 分間は電源を投入しないようにして下さい。
電球の寿命が短くなるため、再度使用する場合は 5 分以上クールダウンをしてから電源を投入して下さい。

照度を保つ為に、ディスチャージ・ランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。その為、長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加し、それにつれ更なる注意が必要になります。ガスを使用したディスチャージ・ランプが装填されている製品を使用する際にはくれぐれもご注意下さい。また、使用中に本体を開けることは危険ですのでお止め下さい。

安全上のご注意

VisionScan575 は精密電子機器です。本製品を安定してお使い頂く為に本取扱説明書を良くお読み下さい。

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止め下さい。
- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行って下さい。
- どのような状況においても本体のカバーを外さないで下さい。
- 必ず風通しの良い、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用を止めて下さい。
- 本製品を天井から吊るす場合、必ずセーフティーケーブルおよび対応クランプを使用して設置して下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。

本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。

基本仕様

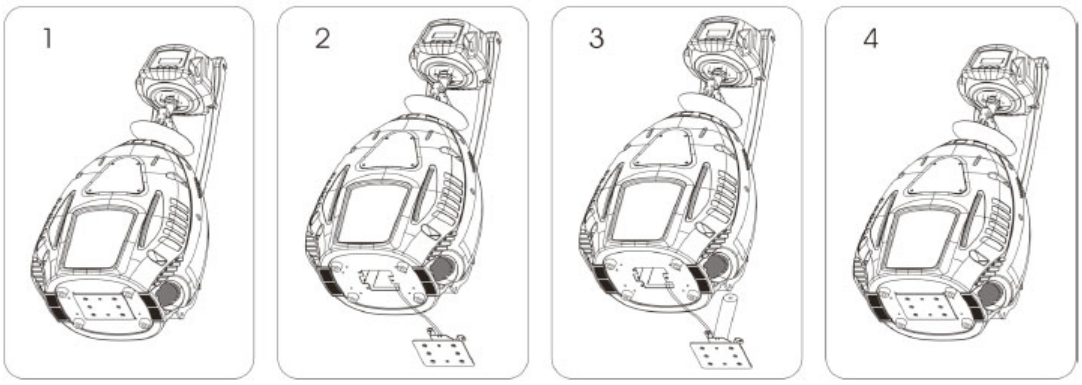
- 155 度の範囲でパン(X 横軸)を操作可能
- 45 度の範囲でチルト(Y 縦軸)を操作可能
- DMX、スタンドアローン、サウンドアクティブの 3 つのモードで操作可能
- 8 色+白（2 方向レインボーエフェクト搭載）
- 回転ゴボホイールに 6 つの回転ゴボを搭載
- 静止ゴボホイールに 7 つの静止ゴボを搭載
- ストロボ機能：0～15 フラッシュ/秒、ランダム
- プリズム、プリズム回転機能（16 プリズムマクロ搭載）
- ステップズーム機能（15°、18°、21°レンズを選択可能）
- ディマー操作範囲：0～100%
- アイリス調節範囲：100～5%（パルスアイリスエフェクト使用時）
- フロストエフェクト
- 選択可能な 8 つのプリセットプログラムを搭載
- 4 桁表示のディスプレイとキーボードを搭載したコントロールボードにより、DMX アドレス、パン/チルト、プログラム選択、リセット、電球オン/オフ等を調節可能
- デジタルディスプレイは 180° 回転可能
- ローカル/リモートリセット機能を搭載
- 全ての機能に対するオートテスト機能を搭載
- デジタルディスプレイに DMX チャンネル値を表示
- フロントコントロールパネル、又は外部コントローラーによって最大 48 シーンの保存が可能

本体の取り付け

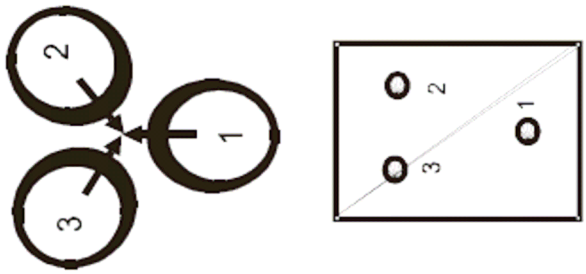
電球の交換方法

電球を交換する前にまず電球の熱が冷めたことを確認して下さい。電球は Philips の MSR575/2 を 1 つ用意して下さい。

取り付け手順



1. 本体の底面に取り付けられているプレートの 3 つのネジを外して下さい。
2. パネルの真ん中にあるノブを使って、ソケットホルダーをゆっくり取り出して下さい。
3. ソケットに電球を取り付けて下さい。電球を取り付ける方向は 1 つしかありませんので注意して下さい。ソケットホルダーを元の位置に戻し、ネジを締めて固定して下さい。
4. アクセスプレート上に搭載された 3 つのネジ（以下図を参照）を使って電球の位置を微調整することが可能です。

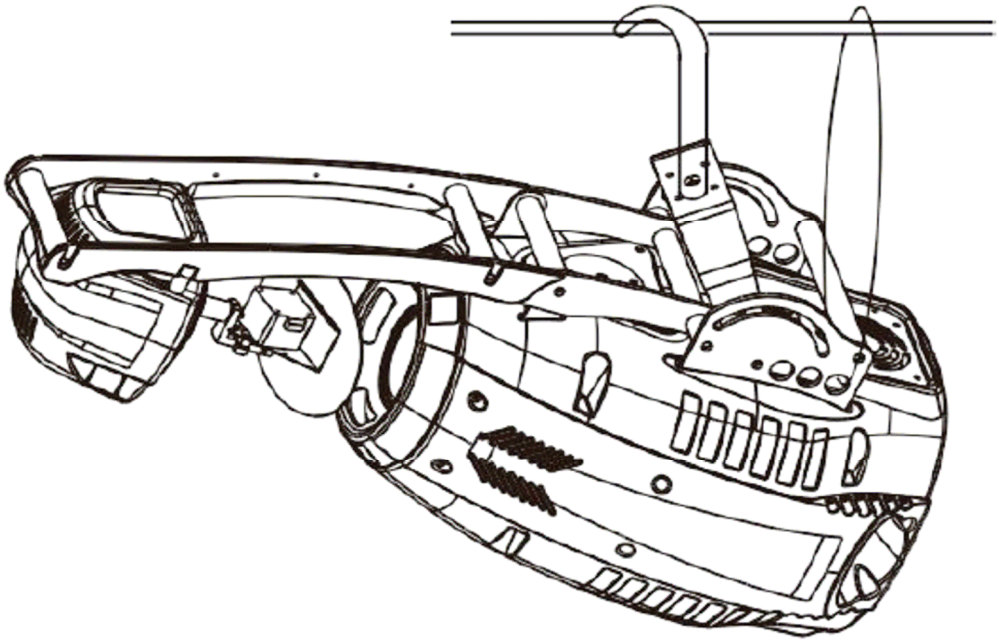


設置方法

回路の破損を避ける為に VisionScan575 の本体を横に設置しないで下さい。また、装飾用具等の可燃物からは最低 0.5 メートルの距離をおくように注意して下さい。また使用するセーフティーケーブルの耐重量が VisionScan575 本体の 10 台分以上の強度の物を使用して下さい。尚、運搬用ハンドルは固定用ハンドルとしては使用できません。

クランプを使用した設置方法

VisionScan575 は本体背面に複数のクランプを取り付けて本体を固定することが可能です。トラスに取り付ける際は適切な耐荷重量のクランプを使用して下さい。正しいクランプの取付け方法については以下の図を参照して下さい。



本体のブラケットにクランプを取り付けて下さい。セーフティーワイヤーを図のようにブラケットのベースの部分に取り付け、トラスに固定して下さい。

本体の接続

使用電源

VisionScan575 は定格電圧 AC100V、50/60Hz で使用して下さい。電源ケーブルをコンセントに接続する前に電源を確認して下さい。

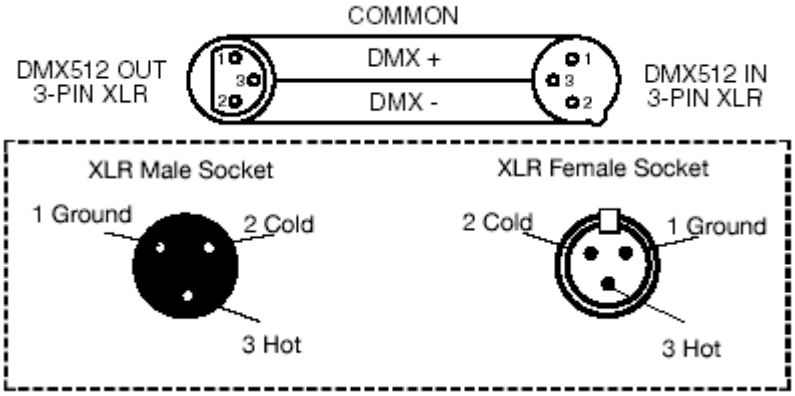
DMX-512

DMX は照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX ケーブル

VisionScan575 は DMX に対応しています。DMX アドレスは本体の底面で設定して下さい。DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用し行います。DMX ケーブルを作る際はデジタルケーブルを使用して下さい。また、DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。

DMX ケーブルを作る際、以下の図を参照して下さい。



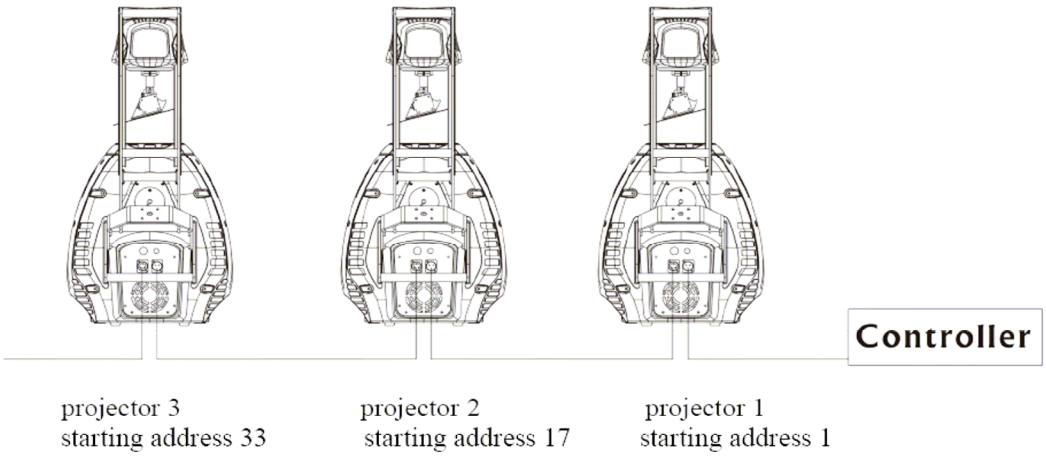
5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを VisionScan575 に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

DMX スタートアドレスの選択

DMX 信号によって灯体をコントロールするには全ての灯体にそれぞれ DMX スタートアドレスを設定する必要があります。スタートアドレスの設定は本体のディスプレイ上で行うことが可能です。

接続された全ての灯体、もしくはそのうちの数台に同じアドレスを設定する、又は全ての灯体に異なるアドレスを設定することが可能です。全ての灯体に同じアドレスを設定した場合、全ての灯体を1つのチャンネルによってコントロールすることが可能です。つまり、チャンネルの設定を少し変更すると全ての灯体の設定を同時に変更することが可能です。また全ての灯体に異なるアドレスを設定した場合、それぞれの灯体が設定されたチャンネルのみに反応して動作します。
尚、スキャナーを接続する場合は 1 台目のスタートアドレスを 1、2 台目を 17、3 台目を 33 にそれぞれ設定して下さい。



コントロールボード

本体に搭載されたコントロールボードによって、スタートアドレス、電球のオン/オフ切替え、プログラムの設定、また本体のリセット等行うことが可能です。
メインメニューにアクセスするにはディスプレイが点灯するまで3秒ほどMODE/ENTERボタンを押して下さい。UP ボタンを押してメニューをスクロールさせ、MODE/ENTER ボタンを押して設定を行うメニューを選択して下さい。EXIT ボタンを押すとメインメニューに戻ることが可能です。

0	ADDR	A001－A511		DMX スタートアドレスの表示	
1	TEST	T-01－T-xx		全機能の自動テストプログラム	
2	AUD1	MSTR		灯体をオーディオ機能のマスターに設定	
		ALON		灯体をオーディオ機能のアローンに設定	
3	LAMP	ON/OFF		電球 ON/OFF の手動切替	
4	RESE	ALL	ON/OFF	全モーターをデフォルトに設定	
		SCAN	ON/OFF	パン/チルト用モーターをデフォルトに設定	
		COLR	ON/OFF	カラー用モーターをデフォルトに設定	
		GOBO	ON/OFF	ゴボ/ローテーション用モーターをデフォルトに設定	
		SHTR	ON/OFF	シャッター/ディマー用モーターをデフォルトに設定	
		OTHR	ON/OFF	その他モーターのリセット	
5	TIME	LIFE	0000－9999	フィクスチャーの稼働時間表示	
		LAMP	0000－9999	電球稼働時間の表示	
		CLMP	ON/OFF	電球稼働時間のリセット	
6	RPAN	ON/OFF		PAN 逆回転	
7	RTLT	ON/OFF		TILT 逆回転	
8	FINE	ON/OFF		16bit/8bit の切替	
9	DISP	VALU	D-xx D-00(Dxxxx)	各チャンネルの DMX 値を表示	
		D ON	ON/OFF	2 分後にディスプレイが消灯	
		FLIP	ON/OFF	ディスプレイを 180°回転	
10	SPEC	LAAU	ON/OFF	電源をオンに切替えると電球が自動点灯	
		DLOF	ON/OFF	DMX による電球のオン/オフ切替	
		DLAY	D-xx D-15		
		SPOT	ON/OFF		
		DFSE	ON/OFF		
		VER	V1.0－V9.9		
11	EDIT	STEP	S-01－S-48		プログラムの値を設定
		SCXX	C-01	01xx (00－FFH)	
			:	:	
			C-30	30xx (00－FFH)	
			TIME	T－xx (01－FFH)	
			CEDT	ON/OFF	
		RUN	ON/OFF		プログラムテスト

メイン機能

ADDRESS メニュー

A001-A511: DMX アドレスを設定します。

TEST メニュー

T-01－T-xx: 各チャンネルの機能をテストします。16 チャンネルのうちチャンネル 1、3、5、6、8、9、11 のみテストすることが可能です。

AUDI メニュー

MAST: サウンドアクティブモード時に本体がマスター、親機として動作します。

ALON: サウンドアクティブモード時に本体がスタンドアローン、子機として動作します。

RESE メニュー

ALL: 本体の全てのモーターをリセットします。

SCAN: パン/チルトのミラー動作用モーターをリセットします。

COLR: カラー用モーターをリセットします。

GOBO: ゴボ用モーターをリセットします。

SHTR: シャッター用モーターをリセットします。

OTHR: その他のモーターをリセットします。

TIME メニュー

LIFE: 灯体の総使用時間を表示します。

LAMP: 電球の総使用時間を表示します。

CLMP: 電球の総使用時間をクリアします。

REVERSE PAN

RPAN: パンの動作方向を逆に設定します。

REVERSE TILT

RTILT: チルトの動作方向を逆に設定します。

FINE メニュー

FINE: 16bit と 8bit を切替えます。

DISPLAY メニュー

VALU: 各チャンネルの DMX 値を表示します。
D ON: デジタルディスプレイのオン/オフを切替えます。
FLIP: デジタルディスプレイを 180° 反転させます。

SPEC メニュー

LAAU: 設定をオンに切替えると電球が自動点灯します。
DLOF: DMX コントローラーによって電球のオン/オフを切替えます。
DLAY: 電球のディレイ設定を行います。
SPOT: より良い電球の最適化を行う為に使用するスポットビームのオン/オフを切替えます。
REST: 灯体をデフォルト設定に戻します。
VER: ソフトウェアのバージョンを表示します。

EDIT メニュー

RUN: ユーザーが設定したプログラムを動作させます。
STEP: ユーザーが登録可能な 48 ステップの選択を行います。
SCXX: 各ステップに登録される 30 シーンの選択を行います。
C-01－C-08: 各シーンのチャンネルを変更することが可能です。
TIME: プログラムの総動作時間を設定します。
CEDT: 外部コントローラーを使用してプログラムの編集を行います。

オンボードシステムメニュー

VisionScan575 には操作が簡単に行えるシステムメニューが搭載されています。システムメニューの各操作における機能の詳細については以下を参照して下さい。

ENTER ボタン

メインメニューにアクセスするには本体の前面にある MODE/ENTER ボタンを押して下さい。UP ボタンを押し設定を行う機能を選択して下さい。機能が選択されるとメニューが点滅します。設定を変更したら MODE/ENTER ボタンを再度押し、変更を確定して下さい。変更を行わずにメインメニューに戻る場合は EXIT ボタンを押して下さい。

ADDR メインメニュー

ADDR：DMX アドレスの設定を行います。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“ADDR”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“A001”と表示され、UP/DOWN ボタンによって DMX アドレスを選択します。
4. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
5. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

TEST メインメニュー

TEST：各チャンネルの機能を検証します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“TEST”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“T-01”と表示され、UP/DOWN ボタンによって動作検証する各チャンネルを選択します。例えば“T-03”を選択すると、本体はカラーチャンネルの検証を開始し各カラーを 1 つずつ出力します。尚、16 チャンネルのうちチャンネル 1、3、5、6、8、9、10、12、13、14 でテストすることが可能です。
4. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
5. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

AUDI メインメニュー

MSTR：マスター/スレーブモード上で本体をマスター機に設定します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“AUDI”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“MSTR”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

ALON：本体をスタンドアローン機に設定します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“AUDI”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“ALON”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

RESE メインメニュー

ALL：ALL リセット機能をオンに切り替えると全てのモーター動作がリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“ALL”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択すると全てのモーターの動作がリセットされます。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT/DN ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

SCAN：SCAN リセット機能をオンに切り替えるとパン/チルト用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“SCAN”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとパン/チルト用モーターの動作がリセットされます。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

COLR：COLR リセット機能をオンに切り替えるとカラーホイール用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“COLR”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとカラーホイール用モーターの動作がリセットされます。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

GOBO：GOBO リセット機能をオンに切り替えるとゴボホイール用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“GOBO”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとゴボホイール用モーターの動作がリセットされます。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

SHTR：SHTR リセット機能をオンに切り替えるとシャッター/ディマー用モーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“SHTR”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとシャッター/ディマー用モーターの動作がリセットされます。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

OTHR：OTHR リセット機能をオンに切り替えるとその他のモーターのみがリセットされます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RESE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“OTHR”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示され、UP ボタンによって“ON”を選択するとその他のモーターの動作がリセットされます。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

TIME メインメニュー

LIFE：灯体の総動作時間を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“TIME”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LIFE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

LAMP：電球の総動作時間を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“TIME”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LAMP”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

CLMP：電球の総動作時間をリセットします。電球を交換する度にこの機能をお使い下さい。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“TIME”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“CLMP”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. “MODE/ENTER”を押して下さい。ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
5. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
6. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
7. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

RPAN メインメニュー

RPAN：パンが逆方向に動作します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RPAN”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

RTLT メインメニュー

RTLT：チルトが逆方向に動作します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“RTILT”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

FINE メインメニュー

FINE：パン/チルト動作の解像度を 16bit と 8bit から選択します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“FINE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

DISP メインメニュー

VALU：各チャンネルの DMX 値を表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“VALU”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

D ON：デジタルディスプレイのオン/オフを切り替えます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“D ON”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

FLIP：デジタルディスプレイを 180° 反転させます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“DISP”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
4. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
5. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
6. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

SPEC メインメニュー

SPOT：コントロールボードから電球を微調整することが可能です。シャッターが開き、電球を調節することができます。また本体がこのモードに設定されている時、他のコントロール信号には反応しません。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“ADJU”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“LADJ”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
5. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
6. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
7. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

DFSE：本体を工場出荷時の設定に戻します。全ての設定はデフォルト値に戻り、全てのシーンは消去されます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“SPEC”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“DFSE”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“ON/OFF”と表示されます。
5. UP ボタンによって“ON”を選択するとこの機能が動作し、“OFF”を選択すると動作しません。
6. MODE/ENTER を押して決定して下さい。
7. EXIT ボタンを押してメインメニューに戻って下さい。

VER：本体のソフトウェアのバージョンを表示します。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“SPEC”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“VER”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“V-1.0”、または“V-2.0”や“V-9.9”等と表示されます。
5. “MODE/ENTER”又は“EXIT”を押してメインメニューに戻って下さい。

EDIT メインメニュー

EDIT：コントロールパネル、又は外部コントローラーを使用して、本体メモリー（EEPROM）にプログラムを保存することが可能です。

RUN：保存したプログラムを動作させることが可能です。STEP（S-01－S-48）によってステップの数を設定することが可能です。また EDIT によって各シーンを編集することができます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“RUN”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“AUTO”と表示されます。再度 UP ボタンを押すとディスプレイに“SOUN”と表示され、“ENTER”でプログラムを選択して下さい。
5. UP ボタンにより“ALON”または“MAST”を選択します。
6. MODE/ENTER でモードを決定して下さい。
7. “EXIT”を押してメインメニューに戻って下さい。

STEP：ステップ数を各プログラムから設定することが可能です。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“STEP”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
4. ディスプレイに“S-01”と表示されます。これはプログラムに保存されたステップナンバーを表し、“RUN”には最大 48 のシーンを呼び出すことが可能です。例えば“S-05”が表示されている場合、“RUN”は“EDIT”で保存された最初の 5 シーンを動作させます。
5. MODE/ENTER を押して保存して下さい。

SC01：プログラム上のシーンの数を選択することができます。

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. UP ボタンを使って“SC01”をディスプレイに表示させて下さい。
4. ディスプレイに“SC01”と表示されます。これはプログラムに保存されたシーンナンバーを表し、最大 30 のシーンを呼び出すことが可能です。例えば“SC05”が表示されている場合、“RUN”は“EDIT”で保存された最初の 5 シーンを動作させます。
5. MODE/ENTER を押して保存して下さい。

編集方法 1：コントロールボードのみを使用した場合

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“SC01”と表示されます。これはプログラムに保存されたシーンナンバーを表し、シーン 01 に編集を加えることを意味します。UP ボタンでシーンナンバーを選択し、MODE/ENTER で決定して下さい。
4. MODE/ENTER を押すとディスプレイにチャンネルナンバーが“C-1”と表示され、選択されたシーンのチャンネル 1 を編集することが可能になります。UP ボタンでチャンネルナンバーを選択し、MODE/ENTER で決定して下さい。
5. ディスプレイに編集しているチャンネルの DMX 値が“11XX”のように表示されます。これはチャンネル 11 の DMX 値が“XX”であることを示します。
6. UP ボタンで DMX 値を選択して下さい。
7. MODE/ENTER で他のチャンネルの設定を入力して下さい。
8. 5-7 を繰り返し他のチャンネルの DMX 値を設定して下さい。尚、各シーンには最大 15 チャンネル設定することが可能です。
9. 全てのチャンネルが設定されるとディスプレイに“TIME”と表示され、シーンを動作させる為に必要な時間を意味します。
10. MODE/ENTERを押して時間の設定を行います。ディスプレイに“T-XX”と表示され、“XX”に 3 を掛けた数値がシーンを動作する時間になります。例えば“T-02”は 6 秒、また“T-15”は 45 秒を意味します。

11. UP ボタンを使用して時間を設定して下さい。
12. MODE/ENTER を押してシーンの設定を保存して下さい。ディスプレイが自動的に次のシーンを表示します。
13. 3-12 を繰り返し、他のシーンを編集して下さい。最大 48 シーンを保存することが可能です。
14. EXIT を押してメインメニューに戻ります。

編集方法 2:外部コントローラーを使用した場合

1. メインメニューにアクセスします。
2. UP ボタンを使って“EDIT”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
3. ディスプレイに“SC01”と表示されます。これはプログラムに保存されたシーンナンバーを表し、シーン 01 に編集を加えることを意味します。
4. UP ボタンでシーンナンバーを選択して下さい。
5. MODE/ENTER を押して下さい。ディスプレイにチャンネル 1 を意味する“C-01”が表示されます。
6. UP ボタンを使って“CEDT”をディスプレイに表示させ、“MODE/ENTER”を押して下さい。
7. ディスプレイに“OFF”と表示されます。UP ボタンで“ON”を選択して ENTER を押して下さい。
8. ディスプレイに“SC02”と表示されます。これでシーンのダウンロードが完了したことを意味します。
9. UP ボタンを使用して Step Time を調節して下さい。
10. コントローラー上で 2 つ目のシーンを選択して下さい。
11. 必要な全てのシーンがダウンロードされるまで 3-6 を繰り返して下さい。
12. EXIT を押してメインメニューに戻ります。尚、“STEP”でステップ数を決定することが可能です。

DMX チャンネルの機能と DMX 値

チャンネル 1: PAN（8bit）

チャンネル 2: PAN FINE

チャンネル 3: TILT（8bit）

チャンネル 4: TILT FINE

チャンネル 5: COLOR WHEEL

0-13	オープン/ホワイト
14-27	レッド
28-41	ブルー
42-55	グリーン
56-69	ライトイエロー
70-83	マジェンタ
84-97	オレンジ
98-111	パープル
112-128	ピンク
129-187	レインボーエフェクト（ファスト→スロー）
188-193	回転なし
194-255	レインボーエフェクト（スロー→ファスト）

チャンネル 6: ゴボ（回転）

0-9	オープン
10-19	回転ゴボ 1
20-29	回転ゴボ 2
30-39	回転ゴボ 3
40-49	回転ゴボ 4
50-59	回転ゴボ 5
60-69	回転ゴボ 6
70-89	ゴボ 1 シェーク（スロー→ファスト）
90-109	ゴボ 2 シェーク（スロー→ファスト）
110-129	ゴボ 3 シェーク（スロー→ファスト）
130-149	ゴボ 4 シェーク（スロー→ファスト）
150-169	ゴボ 5 シェーク（スロー→ファスト）
170-189	ゴボ 6 シェーク（スロー→ファスト）

190-255 回転ゴボホイール（スロー→ファスト）

チャンネル 7: 回転ゴボ索引、ゴボ回転

0-127 ゴボ検索

128-187 ゴボ回転（ファスト→スロー）

188-193 回転なし

194-255 ゴボ回転（スロー→ファスト）

チャンネル 8: ゴボ（フィックス）

0-13 オープン/ホール

14-27 ゴボ 1

28-41 ゴボ 2

42-55 ゴボ 3

56-69 ゴボ 4

70-83 ゴボ 5

84-97 ゴボ 6

98-111 ゴボ 7

112-127 ゴボ 1 シェーク（スロー→ファースト）

128-143 ゴボ 2 シェーク（スロー→ファースト）

144-159 ゴボ 3 シェーク（スロー→ファースト）

160-175 ゴボ 4 シェーク（スロー→ファースト）

176-191 ゴボ 5 シェーク（スロー→ファースト）

192-207 ゴボ 6 シェーク（スロー→ファースト）

208-223 ゴボ 7 シェーク（スロー→ファースト）

224-255 回転ゴボホイール（スロー→ファースト）

チャンネル 9: 回転プリズム、プリズム/ゴボマクロ

0-3 オープン

4-63 回転（ファスト→スロー）

64-67 回転なし

68-127 回転（スロー→ファスト）

128-135 マクロ 1

136-143 マクロ 2

144-151 マクロ 3

152-159 マクロ 4

160-167 マクロ 5

168-175 マクロ 6

176-183 マクロ 7

184-191 マクロ 8
192-199 マクロ 9
200-207 マクロ 10
208-215 マクロ 11
216-223 マクロ 12
224-231 マクロ 13
232-239 マクロ 14
240-247 マクロ 15
248-255 マクロ 16

チャンネル 10: フォーカス＆ズーム
0-85 ズーム 1＆連続調節（FAR→NEAR）
86-171 ズーム 2＆連続調節（FAR→NEAR）
172-255 ズーム 3＆連続調節（FAR→NEAR）

チャンネル 11: シャッター、ストロボ
0-31 シャッタークローズ
32-63 機能なし（シャッターオープン）
64-95 ストロボエフェクト（SLOW→FAST）
96-127 機能なし（シャッターオープン）
128-159 パルスエフェクト
160-191 機能なし（シャッターオープン）
192-223 ランダムストロボエフェクト（SLOW→FAST）
224-255 機能なし（シャッターオープン）

チャンネル 12: ディマー
0-255 輝度（0-100%）

チャンネル 13: アイリス
0-191 直径調節（MAX→MIN）
192-223 パルスクローズ（FAST→SLOW）
224-255 パルスオープン（SLOW→FAST）

チャンネル 14: フロスト
0-191 フロスト（0-100%）
192-223 パルスクローズ（FAST→SLOW）
224-255 パルスオープン（SLOW→FAST）

チャンネル 15:　スピード・パン/チルト動作

0-4　スピード（MAX）

5-225　スピード（MAX-MIN）

226-235 ブラックアウト

236-245 ブラックアウト

246-255 機能なし

チャンネル 16:　電球オン/オフ、リセット、内部プログラム

0-19　カラーチェンジ（ノーマル）

20-39　カラーチェンジ（任意のポジション）

40-59　電球 ON

60-79　電球 OFF

80-84　モーターリセット（全モーター）

85-87　モーターリセット（スキャン）

88-90　モーターリセット（カラー）

91-93　モーターリセット（ゴボ）

94-96　モーターリセット（シャッター＆ディマー）

97-99　モーターリセット（その他のモーター）

100-119 内蔵プログラム 1

120-139 内蔵プログラム 2

140-159 内蔵プログラム 3

160-179 内蔵プログラム 4

180-199 内蔵プログラム 5

200-219 内蔵プログラム 6

220-239 内蔵プログラム 7

240-255 オートプログラム

電球の交換

安全上のご注意（電球交換）

- 作業前に必ず電源プラグを抜いて下さい。
- 稼動後 20 分間は手を触れず放置し、本体の熱を十分冷まします。
- 電球には素手で触れないで下さい。ガラス部に直接手で触れると、油脂が付着して電球が破損することがあります。その際は柔らかい布でお拭き取り下さい。また衝撃などにより電球内のフィラメントが崩れることもありますので取扱いにはご注意下さい。
- 電球装着後、必ず本体を閉じて下さい。電球ケースを開いたまま電球を点灯すると、網膜を傷つける恐れがあります。

電球の交換手順

- はじめに電源プラグを抜きます。
- 4 本の固定ネジをゆるめて電球カバーを取り外して下さい
- 電球カバーを外すと電球が見えますので、古い電球を取り外して下さい。破損の恐れがあるため、必ず手袋や布をあてがって電球を取り外します。
- 交換電球を取り付けます。しっかりと端子台に固定されていることを確認して下さい。
- 定格とあった電球をご使用下さい。
- カバーを閉め直します。
- 電球の稼働時間は Time メニューで確認できます。

ヒューズの交換

ヒューズを交換する際は必ず同じタイプのものと交換して下さい。

メンテナンス

本体の表面や内部に埃や汚れ、スモーク液などの残留物が付着しない様、清掃は必ず行って下さい。ガラスクリーナーと柔らかい布(糸くずが出ないもの)を使用し、アルコール類は絶対に使用しないで下さい。

注:清掃を始める前に必ず電源を切って下さい。

清掃の頻度

パーツ	頻度	清掃方法
外側のレンズ	一週間に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
カラーフィルター	一ヶ月に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
ゴボ	一年に一度	掃除機やエアブラシで清掃して下さい。
ガラス・ゴボ	一ヶ月に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
プリズム	一ヶ月に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
ディマー/シャッター	一年に一度	掃除機やエアブラシで清掃して下さい。
内部レンズ	一ヶ月に一度	クリーナーは使用せずに、柔らかい布で拭いて下さい。
ファンおよび通気孔	一ヶ月に一度	掃除機やエアブラシで清掃して下さい。
反射鏡	清掃しません	
電球	清掃しません	
移動用パーツ	一年に一度	潤滑油を差して下さい。

- 外側のレンズに油脂が付着しない様ご注意下さい。
- 清掃用のクリーナーなど、水分が十分乾いているのを確認してから電源を入れて下さい。
- 非球面レンズを水やクリーナーを付けた布で拭かないで下さい。
- レンズが濁ってきたら交換して下さい(目安として 1-2 年)。

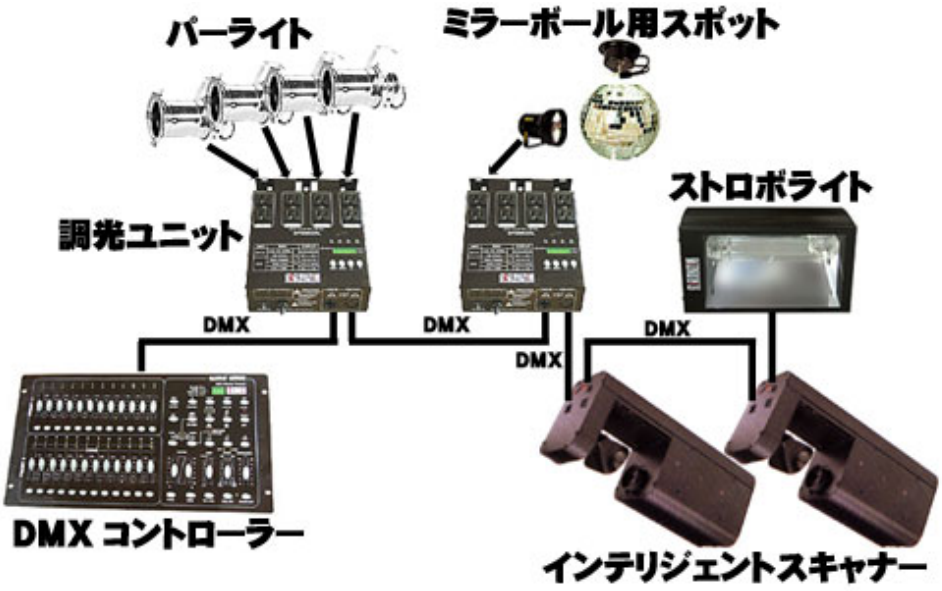
レンズの交換が必要な場合はご購入された販売店、または正規輸入代理店までご相談下さい。

製品仕様

消費電力	最大 1000W
電源	AC100V、50/60Hz
モーター	マイクロモーター×13
電球	MSR 575/2、6500k
パン動作範囲	最大 530°、2.65 秒、解像度 16bit
チルト動作範囲	最大 280°、1.68 秒、解像度 16bit
寸法、重量	梱包サイズ: 48(W)×92(H)×43(D)cm
	本体重量: 32kg
	本体重量: 36kg (総重量)

DMX 対応照明機器の基本的な接続方法

＜接続例＞



・DMX 対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルには DMX ケーブルもしくはマイクケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX 対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。

・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていませんが、なるべく距離が長くならない様に配線を行って下さい(※)。

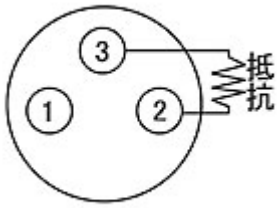
・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64 や PAR38 等)の明るさを調節します。

・インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ー長距離の配線についてー

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターについて

	ターミネーターは、HOSA　DMT-414 をお薦め致します。
	自作される場合はオスの XLR コネクターを使用し、120Ω 1/4W の抵抗を、図の様に 2 番と 3 番ピンに接続しショートさせて下さい。

ELATION
Professional